

外務大臣

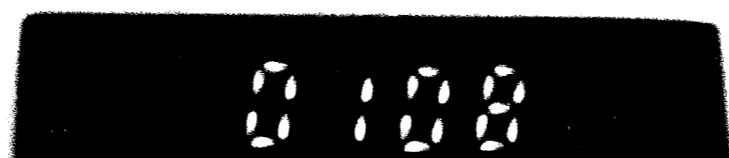
昭和十三年三月三十日會議議案

被

開港港則中改正ノ件

参照添附

G-0038



勅令第 號

開港港則中左ノ通改正ス

第一條中神戸ノ項ヲ左ノ如ク改ム

神戸ノ港界ハ蘆屋川口ヨリ南四十

二度三十分西ニ引キタル一線及妙

法寺川口ヨリ南八十七度東ニ引キ

タル一線以内

同條中徳山ノ項ヲ削ル

同條中今治ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

高知ノ港界ハ龍頭埼燈臺ヨリ正東

一海里ニ引キタル一線及該線ノ東

端ヨリ正北ニ引キタル一線以内

宇部ノ港界ハ宇部岬ヨリ南八十度

西ニ引キタル一線及本山鼻ヨリ南

七十度東ニ引キタル一線以内

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附二

G-0038



参照

○開港港則

明治三十一年
勅令第百三十九號

第一條 左ニ記載スル外國通商ヲ許シタル諸
港ノ經界ハ左ノ如ク之ヲ定ム

(中略)

神戸ノ港界ハ新在家ノ東南蘆屋川口ヨリ
南十五度四十二度三十分西ニ引キタル一
線ト和田岬及妙法寺川口ヨリ北八十四度
三十四分南八十七度東ニ引キタル他ノ一
線トノ二線ヲ經界トナシタル面積以內
(中略)

徳山ノ港界ハ仙島ノ洲鼻ト蛇島ノ北東端
トノ連結線ヲ兩岸ニ延長シタル一線以內
今治ノ港界ハ蒼社川口ノ東岸ヨリ正北ニ
引キタル一線ト大濱燈臺ヨリ南六十度東
ニ引キタル一線トノ二線ヲ經界トナシタ
ル面積以內

高知ノ港界ハ龍頭埼燈臺ヨリ正東一海里
ニ引キタル一線及該線ノ東端ヨリ正北ニ
引キタル一線以內
宇部ノ港界ハ宇部岬ヨリ南八十度西ニ引

G-0038

キタル一線及本山鼻ヨリ南七十度東ニ引
キタル一線以内

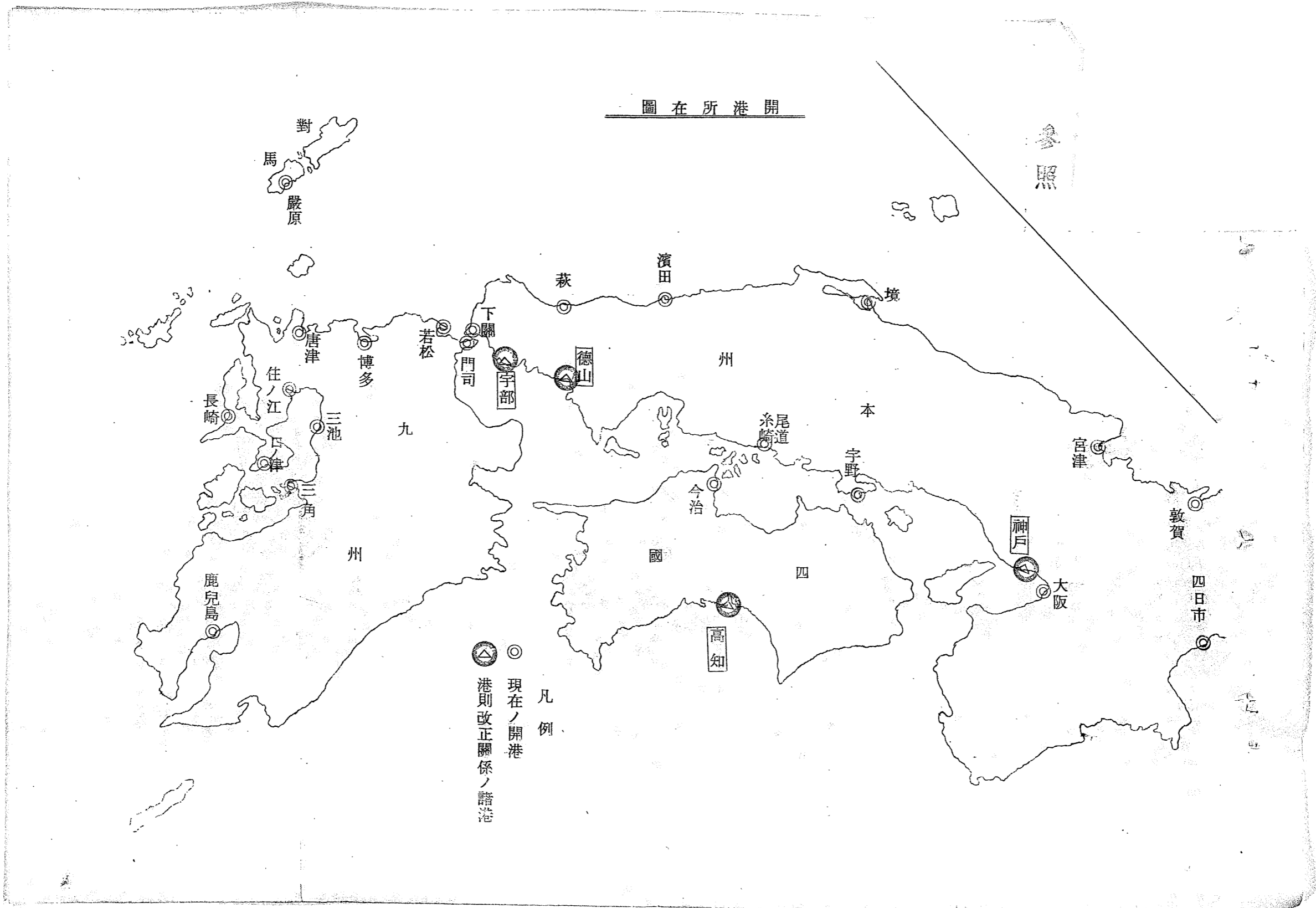
附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

G-0038

開港所所在圖

参照



凡例
 ◎ 現在ノ開港
 △ 港則改正關係ノ諸港

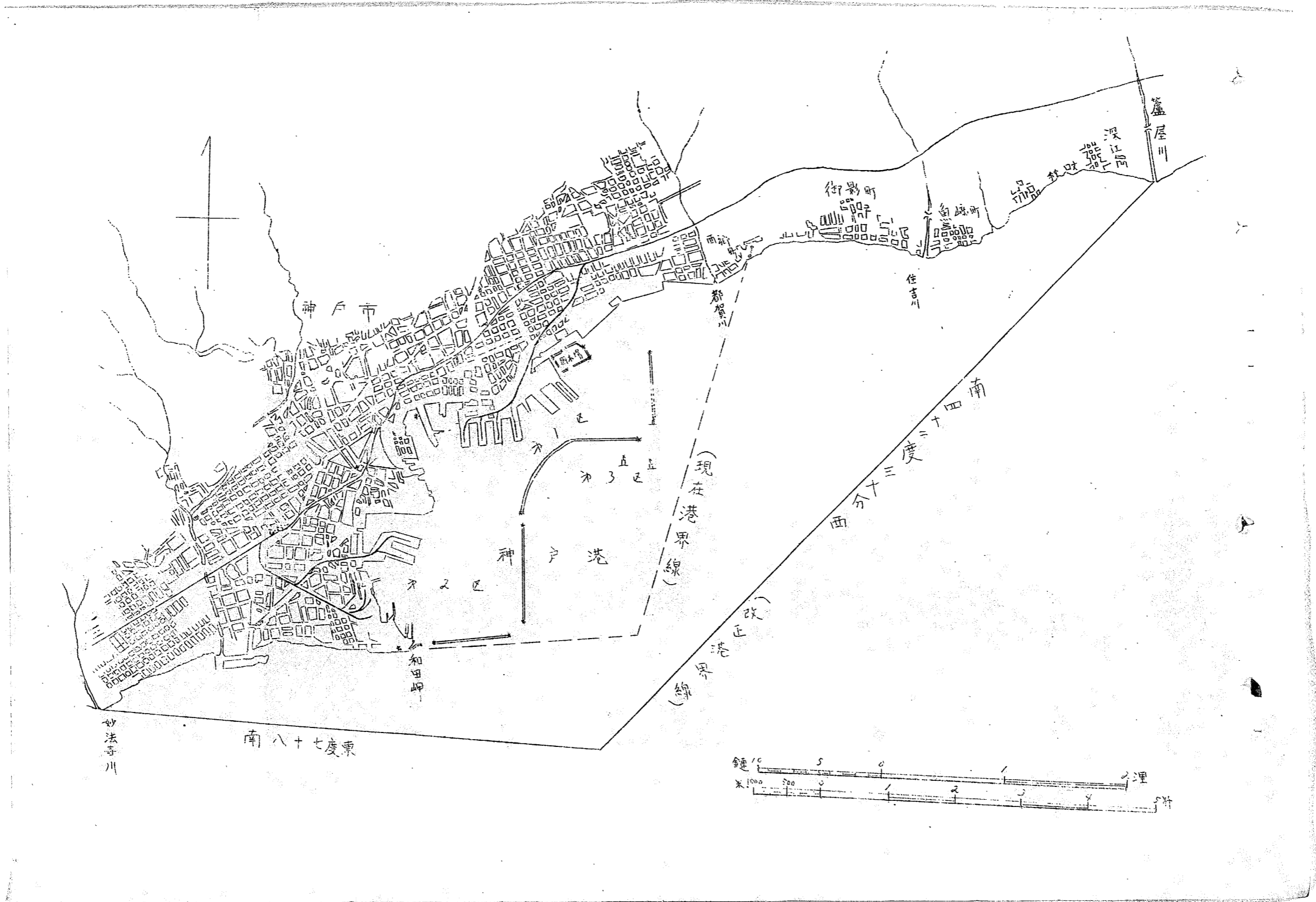
G-0038

神戸港

神戸港ハ大正十三年勅令第四七號ヲ以テ其ノ港域ヲ現在ノ如ク擴張セラレタルモノナル處爾來本港ノ港勢ハ屢々トシテ發展ノ一路ヲ辿リ入港船舶ノ隻數ニ於テ總噸數ニ於テ右ノ改正當時ニ比シ約五割ノ増加ヲ見ル現況ニシテ港域ノ狹隘、錨地ノ不足ヲ感ズルコト痛切ナルモノアリ此際本港ノ港域ヲ擴張スルコト緊要ナリト認メ其ノ港界ヲ本按ノ如ク決定セントス

右ニ依ル港域水面積ハ大約四七、七二六、〇〇〇平方米（約一四、四三七、〇〇〇坪）ナリ

G-0038



G-0038

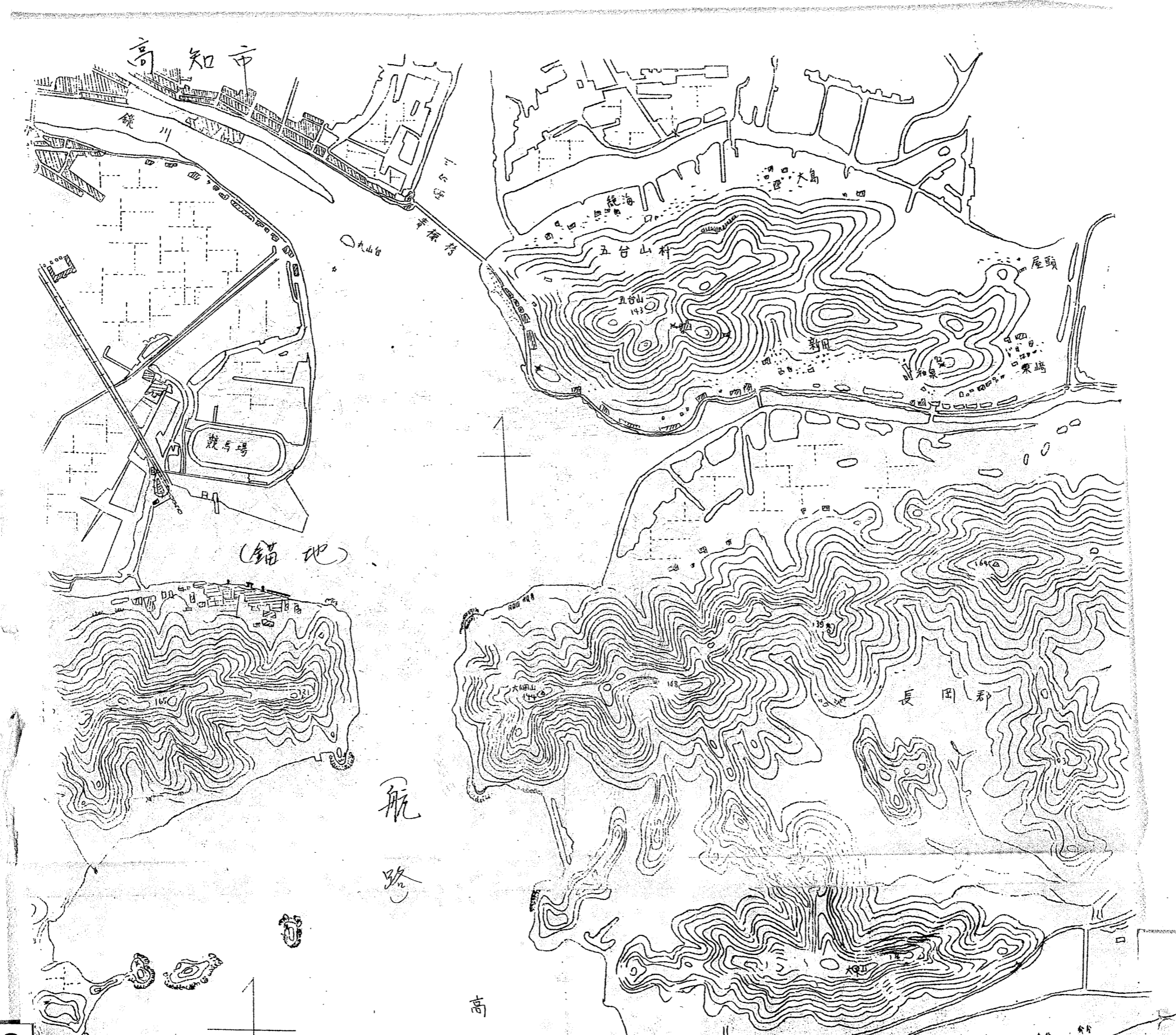


高知港

高知港ハ四國南岸ニ於ケル第二種重要港灣トシテ其ノ港灣施設ハ着々整備ノ途ニ在リ其ノ港勢ハ高知市ノ海門トシテ殆ド高知縣一圓ニ及ブ後方地域ヲ有シ更ニ四國循環鐵道開通ノ曉ニハ徳島、香川、愛媛各縣ノ一部ヲ抱擁スルニ至ルベシ而シテ現在四國ニ於ケル開港ハ北岸ニ於テ今治港一港ノミヲ存スル情況ナルニ鑑ミ本港ヲ開港ニ指定シ四國南岸ニ於ケル産業ノ發展ニ資スルコト緊要ナリト認メ其ノ港界ヲ本按ノ如ク決定セントス

右ニ依ル港域水面積ハ大約九、六一一、七〇〇平方米（約二、九〇七、五〇〇坪）ナリ

G-0038



G-0038



G-0038

高知港ニ於ケル出入船舶及輸出入貨物等調
 (一) 船舶出入状況

年次	内 外		内 外		内 外		内 外		計	其ノ他
	外	内	外	内	外	内	外	内		
昭和九年	四	一〇	四	一〇	三	三	三	三	三	一
同十年	三	九	三	九	二	二	三	三	三	一
同十一年	六	一	六	一	二	二	八	二	二	二
同十二年	三	一	三	一	一	一	三	一	一	一
計	一六	二〇	一六	二〇	八	八	二二	二	二	二

(二) 輸出貨物調

年次	品名		數量	價	額	主ナル仕向國名
	品名	數量				
昭和九年	セメント	材	六一〇〇	八、一五〇	八、一五〇	關東州
昭和十年	セメント	材	一、五一九	四、六〇〇	四、六〇〇	關東州
昭和十一年	セメント	材	三、六五〇	五、五〇〇	五、五〇〇	同
昭和十二年	セメント	材	五、一六九	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	同
昭和十一年	木	材	一、八五〇	五、六〇〇	五、六〇〇	關東州
	セメント	材	五、七〇〇	八、五五〇	八、五五〇	同
	竹	材	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	同
	雜貨	材	八、五〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	同
	木炭	材	二、〇〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	同
	計	材	一〇、三〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	關東州
昭和十二年	木	材	二、六一三	八〇、三九〇	八〇、三九〇	關東州

G-0038

計	竹	一〇〇	一、〇〇〇	同
	雜貨	七八六	三五三七〇	同
		三四九九	一一六七六〇	

(備考) 本調ニハ不開港出入特許ヲ得テ人港セル船舶カ本港ニテ積取リタル輸出貨物ノミヲ計上セリ

(三) 輸入貨物調

年次	品名	數量	價額	主ナル仕出國名
昭和九年	石炭	一四六五六噸	一七六〇〇〇圓	關東州
昭和十年	石炭	二二八〇	二三、〇〇〇	同
昭和十一年	石炭	三四五三	四〇、〇〇〇	同
昭和十二年				

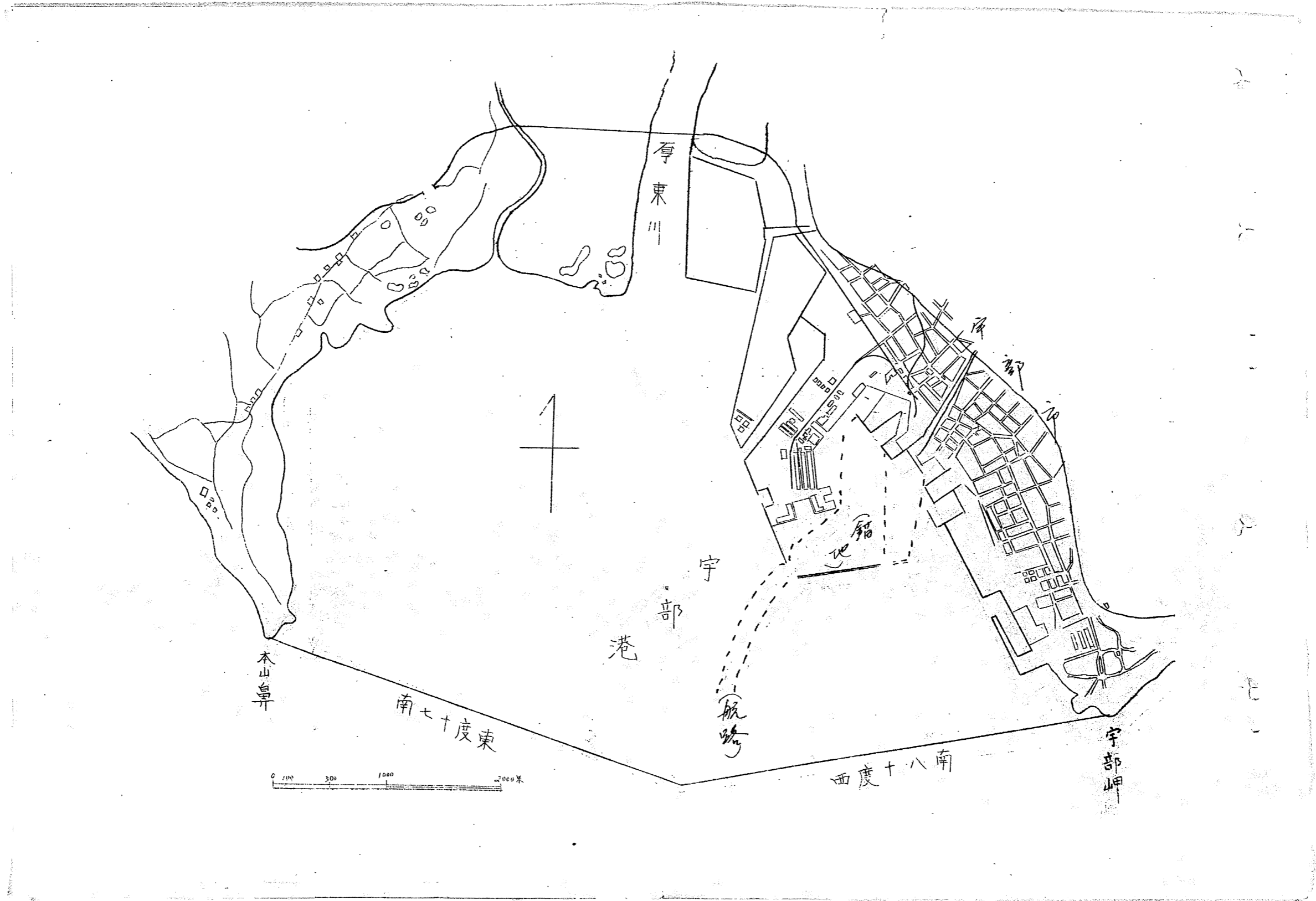
(備考) 本調ニハ不開港出入特許ヲ得テ人港セル船舶カ本港ニテ陸揚シタル輸入貨物ノミヲ計上セリ

G-0038

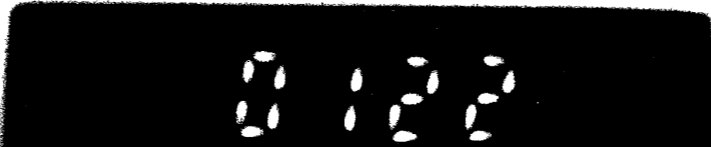
宇部港

宇部港ハ山口縣南岸ニ位スル第二種重要港灣トシテ其ノ港灣施設ハ着々整備ノ途ニ在リ其ノ港勢ハ本港附近ニ於ケル豊富ナル石炭ノ産出ト之ニ伴フ各種工業ノ勃興トニ依リ逐年躍進的發展ヲ遂ゲツツアリ且ツ徳山港ガ開港閉鎖ノ要アルニ鑑ミ本港ヲ開港ニ指定シ前記ノ情勢ニ順應スルコト緊要ナリト認メ其ノ港界ヲ本接ノ如ク決定セントス
右ニ依ル港域水面積ハ大約二一、七九五、八〇〇平方米（約六、五九三、〇〇〇坪）ナリ

G-0038



G-0038



(三) 輸入貨物調

年次	品名	數量	價額	主ナル仕出國名
昭和十二年	塩	二五八七一	三三四三七〇	關東州
昭和十一年	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
昭和十年	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ

(備考) 本調ニハ不開港出入特許ヲ得テ入港セル船舶カ本港ニテ陸揚シタル輸入貨物ノミヲ計上セリ

G-0038

參照

案

明治三十二年勅令第三百四十二號中左ノ通改正ス
第一條中山口縣ノ項港名ノ欄「徳山」ヲ「宇部」ニ改メ愛媛縣ノ項ノ
次ニ左ノ一項ヲ加フ

高知
高知

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

G-0038

勅令第百十六號（昭和十三年三月十四日）^五

明治三十二年勅令第三百四十二號中左ノ通改正ス

第二條 前條ノ開港ハ二年間ノ輸出入貨物ノ價額五萬圓ニ達セザル場

合又ハ其ノ附近ノ地ニ新ニ開港ヲ設クル場合ニ於テ政府之ヲ存價ス

ルノ必要ナシト認ムルトキハ之ヲ閉鎖スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ大藏大臣ハ閉鎖ノ三月前其ノ時期ヲ公告スベシ

第三條 戰時又ハ事變ニ際シ政府必要アリト認ムルトキハ前條ノ規定

ニ拘ラズ第一條ノ開港ヲ閉鎖スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ大藏大臣ハ豫メ閉鎖ノ時期ヲ公告スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正四年勅令第四百十二號ハ之ヲ廢止ス

G-0038

通商局

總務課長

昭和三年三月廿六日

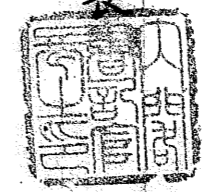
本邦港灣規則原稿
規則原稿
附送

總通
13 2 23
付受

(分 1,2,0,4-1)

昭和十三年三月二十六日

風見内閣書記官長



堀内外務次官殿

通牒

一 開港港則中改正ノ件

君來ル三十日(水曜)且午前十時樞密院會議被相關候ニ付説明員參院ノ儀例ノ通取計相成度

内閣

追テ同院ヨリ申越ノ次第モ有之候間當日貴省ヨリ出席スベキ説明員ハ成ルベク其ノ人數ヲ少クシ其ノ官職氏名折返シ電話又ハ文書ヲ以テ當方ヘ同敷相煩度申忝候

三月廿六日
山形勲作
尾崎嘉平
佐野常雄
三宅廉太郎

日本標準規格 B4 (十行罫)

G-0038



開港港則中改正ノ件審査報告

謹テ今回御諮詢ノ開港港則中改正ノ件ヲ審査スルニ(一)兵庫縣神戸港ハ去ル大正十三年三月從前ノ港域ヲ擴張シテ現在ノ如ク改定セラレタルヨリ以來港勢益々發展シ最近其ノ出入船舶ノ隻數及噸數ハ右ノ改定當時ニ比シ約五割ヲ増加シ其ノ結果港域ノ狹隘、錨地ノ不足ヲ感スルニ至リタルニ由リ更ニ其ノ港域ヲ擴張スル爲メ本件ヲ以テ開港港則第一條ノ各開港ノ經界ヲ定メタル規定中神戸港ニ關スル部分ニ相當ノ改正ヲ加ヘ(二)山口縣徳山港ハ今次ノ事變ニ際シ本年四月一日ヨリ其ノ地ヲ要港トセララルコトト爲リ之ニ伴ヒテ明治三十二年勅令第三百四十二號(開港及開港閉鎖ニ關スル件)第三條ノ規定ニ依リ本年三月三十一日限り開港ヲ閉鎖スルコトト爲リタルニ由リ本件ヲ以テ開港港則第一條中徳山港ニ關スル部分ヲ削除シ(三)高知縣高知港及山口縣宇部港ハ從來不開港ニシテ特別ノ場合ヲ除クノ外外國船舶及外國貿易船ハ之ニ出入スルコトヲ得ス又其ノ地ニ於テ貨物ノ

外務省

輸出入ヲ爲スコトヲ得サリシカ近時兩者俱ニ其ノ港灣施設整備シ高知港ハ現ニ主トシテ關東州トノ間ニ相當額ノ輸出入アリ將來鐵道ノ開通ニ伴ヒテ其ノ後方地域ヲ擴大シ四國南部ニ於ケル産業ノ發展ニ資スヘキ地位ニ在リ宇部港ハ當該地方ニ於ケル豐富ナル石炭ノ產出ト之ニ伴フ各種工業ノ勃興トニ因リ逐年發展ヲ重ネツツアリテ現ニ主トシテ蘇領亞細亞、關東州、中華民國、香港トノ間ニ相當額ノ輸出入アリ且前記ノ如ク閉鎖セララル附近ノ徳山港ニ代ヘテ之ヲ開港ト爲スノ必要アリ仍テ別件ノ勅令ヲ以テ右兩港ヲ開港ニ指定セントスルニ由リ本件ヲ以テ開港港則第一條中ニ高知港及宇部港ノ經界ヲ定ムル規定ヲ追加セントスルナリ

按スルニ本件ハ實際ノ需要ニ基キテ開港ノ港域ヲ擴張シ竝ニ現時ノ情態ニ應シテ開港ノ指定及閉鎖ヲ爲スニ伴ヒ其ノ經界ニ關スル規定ヲ新設及廢除スル爲メ開港港則ノ現行規定ニ一部ノ改正ヲ加ヘントスルモノニシテ妥當ノ措置ト認メララルニ由リ此ノ儘之ヲ可決セラ

外務省

レ然ルヘシト思料ス
右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十三年三月二十五日

樞密院書記官長 村上 恭一

樞密院議長 男爵 平沼 騏一郎 殿

外務省

18.1

G-0038

秘

(請改訂)

開港々則中改正ノ件

昭和十三年三月十四日別紙寫ノ通ノ閣議稟請按(持參回議文書)送
付越セルニ付直ニ小澤事務官、總務課長、勅任事務官、文書課長、
次官ノ署名ヲ得タル後同日直ニ之ヲ返却セリ

昭和十三年三月十四日

通、總

外務省

G-0038

通商局

船航第一四九號

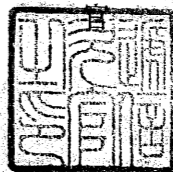
昭和十三年二月四日

昭和十三年貳月五日

總通
P. 2. 7
付受

外務次官殿

遞信次



開港港則改正ニ關スル件

今般高知縣高知港(舊稱浦戸港)及山口縣宇部港ハ開港ニ指定セラ
ル筈ニ有之、神戶及伏木ノ兩開港ハ其ノ現況ニ照ラシ港域ヲ擴張ス
ルノ要有之又門司及下關ノ兩開港ヲ併合シテ一開港(假稱關門港)ニ指
定セララル筈ニ有之候ニ付テハ右港界ヲ夫々左記ノ通決定致度見込ニ
有之候處貴省御意見至急承知致度

遞信省

日本標準規格B5列

記

神戶ノ港界ハ蘆屋川口ヨリ南四十二度三十分西ニ引キタル一線及妙法
寺川口ヨリ南八十七度東ニ引キタル一線以內
高知ノ港界ハ龍頭崎燈臺ヨリ正東一海里ニ引キタル一線及該線ノ東端
ヨリ正北ニ引キタル一線以內
宇部ノ港界ハ宇部岬ヨリ南八十度西ニ引キタル一線及本山岬ヨリ南七
十度東ニ引キタル一線以內
關門(假稱)ノ港界ハ藤ヶ鼻山ノ頂ヨリ北四十度南ニ引キタル一線、
門司稅關港務部大里信號所ヨリ山底ノ鼻燈臺ニ引キタル一線及彦島開
門以內
伏木ノ港界ハ岩崎三角點(六一米)ヨリ南七十八度三十分東ニ引キタ
ル一線及東岩瀬東方ノ三角點(六・八米)ヨリ正北ニ引キタル一線以
內

遞信省

日本標準規格B5列

遞信省經理局印刷

G-0038

次大	東亞局長	歐亞局長	亞米利加局長	條約局長	情報部長	文化事業部長	調查部長	人事部長	會計部長	電信部長	翻譯部長	通商局第一課長	通商局第二課長	通商局第三課長
官臣														
備考	分類 4 1.2.0.4-1													

文書課長

文書課發送 昭和拾陸年六月 廿日發送

主 通商局長 勅任事務官 任 主 通商局總務課長

通總 樞密 第一四二號 昭和拾陸年 參月 壹日 附屬

件名 開港港別改正二開元件

受人信發 堀内次官

名件錄記 本印捲抄手本 改訂了案

外務省

1 176

公信案

外務省

之三付 御了知相成度此段回答申進不

(参考 二月四日付 通商局第一課長 宛 敬請 第一四九号 御件)

G-0038

「開港々則改正ニ關スル件」ノ説明
一 開港ノ開設ニ付キテハ大藏省主管事項ニ屬シ遞信省ニ於テハ其ノ後開港々則ニ則リ港海ヲ指定スルニ在リ
二 高知港ヲ開設トセルハ(イ)四國南部地方ニハ開港存在セサリシヲ以テ之カ爲從來出入船舶ノ種々ナル不便アリ(ロ)内務省指定第二種港灣施設モ最近漸ク出來上リ(ハ)又背後地域ノ廣汎ナル三點ニ鑑ミ之ヲ指定セルモノナリ
三 宇部港ニ開港指定ニ付テハ同港ノ石炭積出多ク又工業物資ノ出入アリ地方産業開發ニ資スル爲之ヲ指定セルモノニシテ之ニ代リ徳山港ハ要港ニ引下ケラルル筈ナリ
（本件公信ニハ徳山港要港化ノ件ハ記述セサルモ後ニ廻付サルヘキ回議文書中ニハ記入セル由）
四 神戸港地域ノ擴張ハ現状ニ照シ狹隘トナレルニ應セントスルモノナリ

外務省

13.1

五 伏木港ニ付テハ從來同地ヨリ開設指定ノ請願アリ近クノ東岩瀬港ハ富山ヘノ出入地トナリ居レルカ伏木港ヲ竝ヒ指定シ得サルニ鑑ミ伏木港トシテ岩瀬港ヲ含メ擴張指定スルモノナリ
六 門司及下關ヲ一開港ニ指定セラルルハ年來ノ同地念願ニテモアリ種々ノ便益ヨリ之ヲ一開港地ニ指定セルモノナリ即
下關ハ從來開港地ナルモ開港々則ノ適用ナク地方長官ニ右ノ管理委任セラレ内海航路規則ニヨリ管理セラレ居ル爲種々支障アリタルヲ以テ下關ヲシテ右ノ港則適用上門ト同様港務部長ヲシテ事務ヲ執行セシムル爲右ヲ合併セントスルモノニシテ從來別個ノ事務ヲ行ヒタルヲ廢止セントスルモノナリ兩港ヲ合併スルニ於テハ強風、其他ノ場合
(イ)比較的狹キ下關港ニ於テ船舶輻輳セル場合ハ同一手續ヲ以テ門司ニ入港シ得ルノ便ノ如キ融通性アリ
(ロ)又入港船舶ニシテ仕向地ヲ別個ニスルノ要ナク入港手續モ一回

外務省

13.1

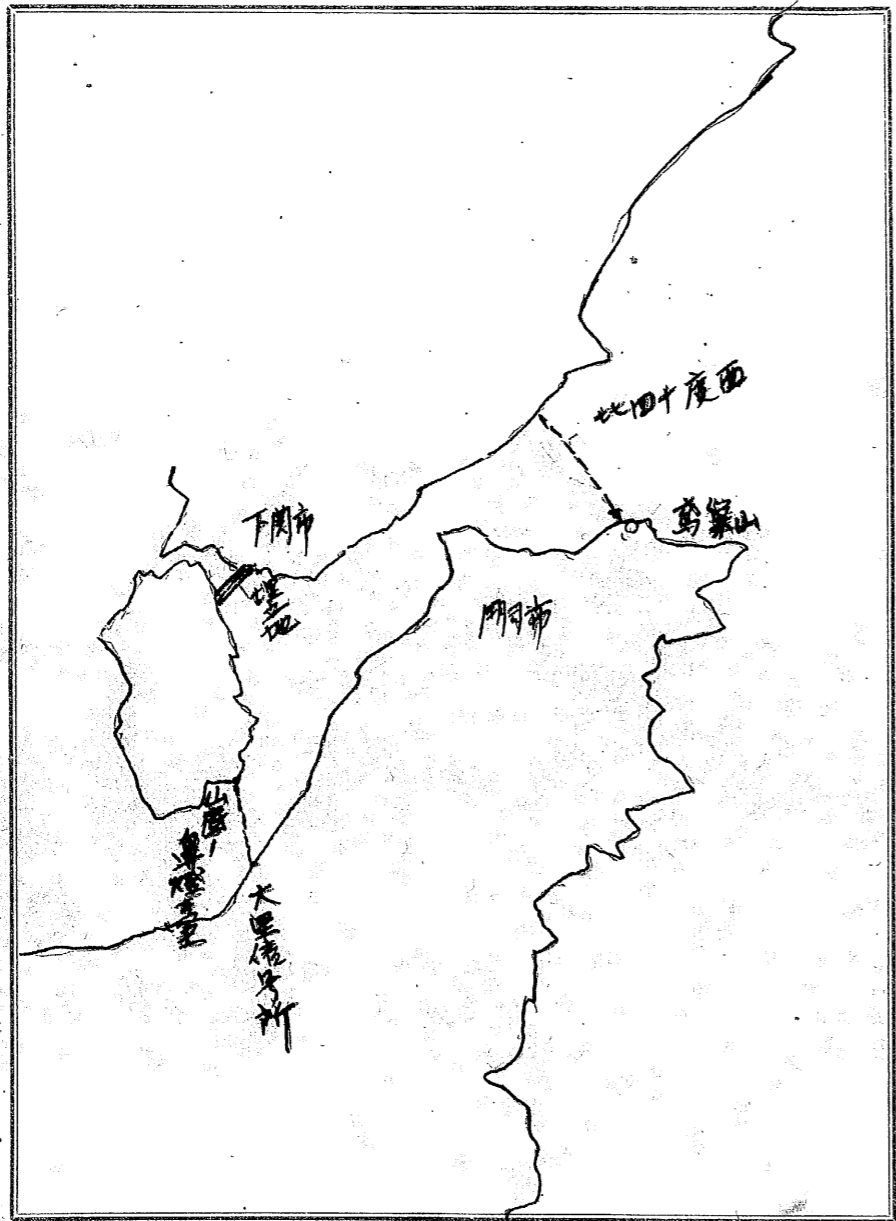
G-0038

大船ハ凡テ一埠ヲ
 變テシテ他埠ト同一ノ
 埠トシテト二埠ト
 ニテ之ヲ由リ

ニテ濟ミ簡略トナル
 ハ噸稅ニ付テモ一回ノ納付ニテ濟ムコトトナリ從テ運賃ヲ低廉ナ
 ラシメ延イテハ貿易ノ繁榮ヲ來タシムルノ益アリ
 尙本件兩港合併ニ付テハ次ノ如キ問題アリ
 即從來大藏省ハ入港シタルヤ否ヤヲ判斷スルニ當リ港線ニ入りタ
 ルヤ否ヤニヨリテ之ヲ決定シ居リタルカ兩港合併スルニ於テハ兩
 門海峽モ其ノ港域トナルヲ以テ同海峽通過ノ船舶ハ大藏省從來ノ
 解釋ヲ採ル場合噸稅ノ納付等ノ問題モ起リ得ヘキモ遞信省ノ見解
 トシテハ斯ル場合事實上入港ノ場合ト通過ノ場合トヲ區別シテ取
 扱ハントスルカ意嚮ノ如シ
 然レトモ外國船舶ノ同地域ヲ通過スル場合ニ於テモ内國船ト同様
 唯港則ヲ遵守シ通過スヘキモノナルヲ以テ對外的ニハ問題ニハナ
 ラサルモノト思惟セラル

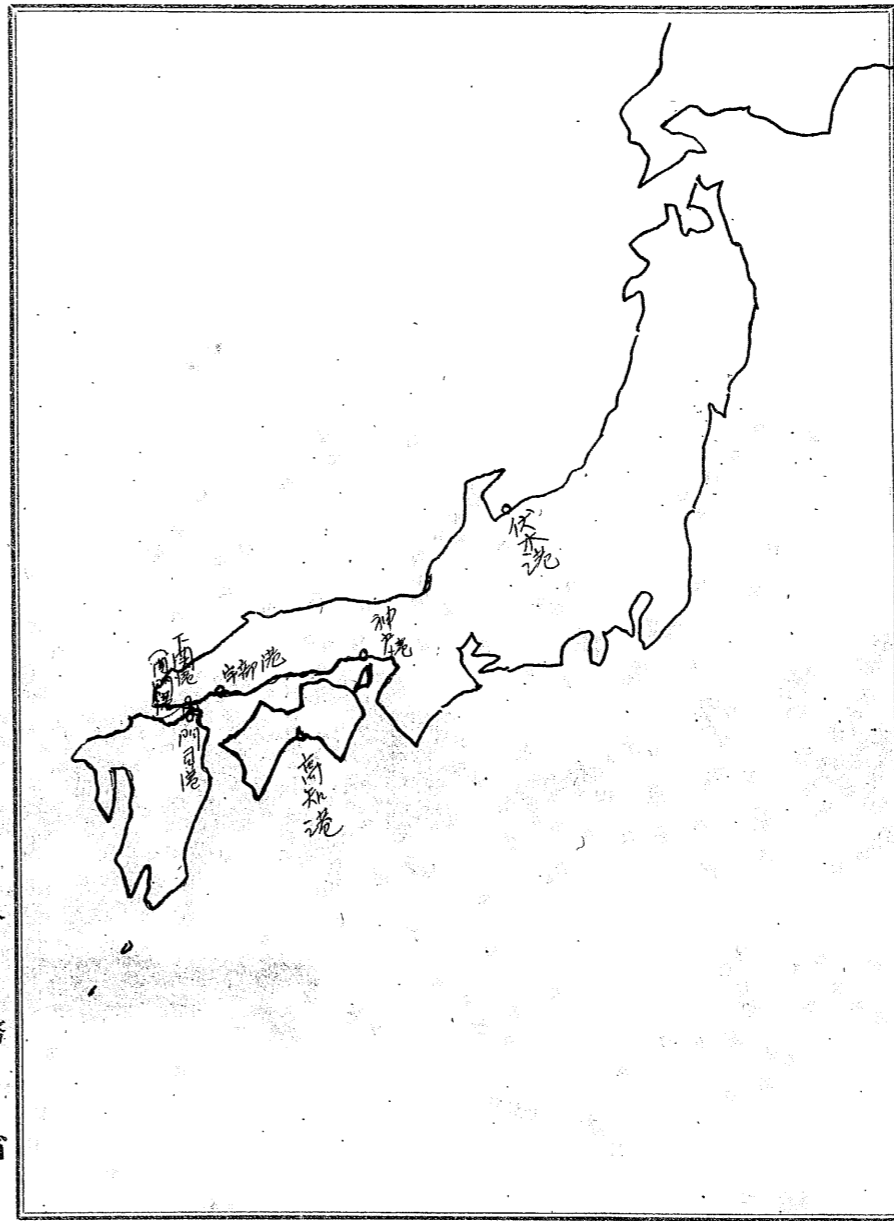
外務省

G-0038



外務省

13.1



外務省

13.1

G-0038

昭和十三年三月四日立接
船航第三〇三號

遞信大臣

次官

參與官

航務課長
監理課長
庶務課長

大藏大臣

次官

主稅局長

文書課長

內務大臣

次官

土木局長

港灣課長
事務官

警保局長

第一技術課長

文書課長

第二技術課長

警務課長

外務省

18.1

は(一)

外務大臣

次官

通商局長

總務課長

勅任事務官

文書課長

外務省

18.1

は(一)

G-0038

閣議稟請按

開港港則中改正ノ件

右改正ノ必要有之候ニ付別紙按ヲ具シ閣議ヲ請フ

昭和十三年 月 日

遞信大臣

外務大臣

内務大臣

大藏大臣

内閣總理大臣宛

外務省

13.1

はじ

按

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ開港港則中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布
セシム

御名 御璽

昭和十三年 月 日

内閣總理大臣

遞信大臣

外務省

13.1

G-0038

勅令第 號

(下略)

理由

神戸港ニ付テハ現港界内ニ於ケル錨地ノ實況ニ鑑ミ港域擴張ノ要アリ夷港ニ付テハ同港カ兩津ト改稱セラルルコトトナリタルニ依リ之ヲ改ムルノ要アリ徳山港ニ付テハ開港ヲ閉鎖セラルルコトトナリタルニ依リ之ヲ削除スルノ要アリ高知港及宇部港ニ付テハ新ニ開港ニ指定セラルルコトトナリタルニ依リ^孰レモ之カ港界ヲ定ムルノ要アリタルニ由ル

外務省

13.1

神戸港

神戸港ハ大正十三年勅令第四七號ヲ以テ其ノ港域ヲ現在ノ如ク擴張セラレタルモノナル處爾來本港ノ港勢ハ屢々トシテ發展ノ一路ヲ辿リ入港船舶ノ隻數ニ於テ總噸數ニ於テ昔ノ改正當時ニ比シ約五割ノ増加ヲ見ル現況ニシテ港域ノ狹隘錨地ノ不足ヲ感スルコト眉切ナルモノアリ此際本港ノ港域ヲ擴張スルコト緊要ナリト認め此ノ港界ヲ本按ノ如ク決定セントス
右ニ依ル港域水面積ハ大約四七、七二六、〇〇〇平方米(約一四、四三七、〇〇〇坪)ナリ

は(ト)

外務省

13.1

G-0038

高知港

高知港ハ四國南岸ニ於ケル第二積重要港灣トシテ其ノ港灣施設ヲ急ニ整備ノ途ニアリ其ノ港勢ハ高知市ノ海トシテ殆ト高知縣一圓ニ及フ後方地域ヲ有シ更ニ四國循環鐵道開通ノ曉ニハ徳島、香川、愛媛各縣ノ一部ヲ把擁スルニ至ルヘシ而現在四國ニ於ケル開港ハ北岸ニ於テ今~~大~~港一港ノミヲ存スル情況ナルニ鑑ミ本港ヲ開港ニ指定シ四國南岸ニ於ケル産業ノ發展ニ資スルコト緊急ナリト認メ其ノ港界ヲ本按ノ如ク決定セントス
右ニ依ル港域水面積ハ大約九、六一一、七〇〇平方米（約二、九〇七、五〇〇坪）ナリ

外務省

宇部港

宇部港ハ山口縣南岸ニ位スル第二種重要港灣トシテ其ノ港灣施設ハ着々整備ノ途ニ在リ其ノ港勢ハ本港附近ニ於ケル豊富ナル石炭ノ産出ト之ニ伴フ各種工業ノ勃興トニ依リ逐年躍進的發展ヲ遂ケツツアリ且ツ徳山港カ開港閉鎖ノ要アルニ鑑ミ本港ヲ開港ニ指定シ前記ノ情勢ニ順應スルコト緊要ナリト認メ其ノ港界ヲ本按ノ如ク決定セントス
右ニ依ル港域水面積ハ大約二一、七九五、八〇〇平方米（約六、五九三、〇〇〇坪）ナリ

外務省

G-0038

レ然ルヘント思料ス
右証ヲ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十三年三月二十五日

樞密院書記官長 村上恭一
樞密院議長 男爵 平沼騏一郎 殿

外務省

18.1

G-0038

秘

閣議々則中改正ノ件

昭和十三年三月十四日別紙寫ノ通ノ閣議稟請按（持參閣議文書）送
付越セルニ付直ニ小澤事務官、總務課長、勅任事務官、文書課長、
次官ノ署名ヲ得タル後同日直ニ之ヲ返却セリ

昭和十三年三月十四日

通、總

外務省

18.1

G-0038

昭和十三年三月四日立按
船航第三〇五號

逓信大臣

次官

政務次官
參與官

航務課長
監理課長
庶務課長

大藏大臣

次官

主税局長

文書課長

内務大臣

次官

土木局長
警保局長
文書課長

港灣課長
事務官
第一技術課長
第二技術課長
警務課長

外務省

13.1

は(ア)

外務大臣

次官

通商局長

總務課長

勅任事務官
文書課長

外務省

13.1

は(ア)

G-0038

閣議稟請按

開港港則中改正ノ件

右改正ノ必要有之候ニ付別紙按ヲ具シ閣議ヲ請フ

昭和十三年 月 日

遞信大臣
外務大臣
内務大臣
大藏大臣

内閣總理大臣宛

外務省

13.1

按

朕極密顧問ノ諮詢ヲ經テ開港港則中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布
セシム

御名御璽

昭和十三年 月 日

内閣總理大臣
遞信大臣

外務省

13.1

G-0038

勅令第 號

(下略)

理由

神戸港ニ付テハ現港界内ニ於ケル鐵地ノ實況ニ鑑ミ港域擴張ノ要アリ
其港ニ付テハ同港力兩津ト改稱セララルコトナリタルニ依リ之
ヲ改ムルノ要アリ徳山港ニ付テハ開港ヲ閉鎖セララルコトナリタ
ルニ依リ之ヲ削除スルノ要アリ高知港及宇部港ニ付テハ新ニ開港ニ
指定セララルコトナリタルニ依リ就レモ之カ港界ヲ定ムルノ要アリ
タルニ由ル

ハ

13.1

外務省

神戸港

神戸港ハ大正十三年勅令第四七號ヲ以テ其ノ港域ヲ現在ノ如ク擴張
セラレタルモノナル處爾來本港ノ港勢ハ屢々トシテ發展ノ一路ヲ辿
リ入港船舶ノ隻數ニ於テ總噸數ニ於テ昔ノ改正當時ニ比シ約五割ノ
増加ヲ見ル現況ニシテ港域ノ狹隘鐵地ノ不足ヲ感スルコト眉切ナル
モノアリ此際本港ノ港域ヲ擴張スルコト緊要ナリト認メ此ノ港界ヲ
本按ノ如ク決定セントス
右ニ依リ港域水面積ハ大約四七、七二六、〇〇〇平方米(約一四、
四三七、〇〇〇坪)ナリ

ハ

13.1

外務省

G-0038

高知港

高知港ハ四國南岸ニ於ケル第二積重要港灣トシテ其ノ港灣施設ヲ急ニ整備ノ途ニアリ其ノ港勢ハ高知市ノ海トシテ殆ト高知縣一圓ニ及フ後方地域ヲ有シ更ニ四國循環鐵道開通ノ嚮ニハ徳島、香川、愛媛各縣ノ一部ヲ把擁スルニ至ルヘシ而現在四國ニ於ケル開港ハ北岸ニ於テ今^カ次港一港ノミヲ存スル情況ナルニ鑑ミ本港ヲ開港ニ指定シ四國南岸ニ於ケル産業ノ發展ニ資スルコト緊急ナリト認メ其ノ港界ヲ本按ノ如ク決定セントス

右ニ依ル港域水面積ハ大約九、六一一、七〇〇平方米（約二、九〇七、五〇〇坪）ナリ

外務省

18.1

宇部港

宇部港ハ山口縣兩岸ニ位スル第二種重要港灣トシテ其ノ港灣施設ハ着々整備ノ途ニ在リ其ノ港勢ハ本港附近ニ於ケル豊富ナル石炭ノ産出ト之ニ伴フ各種工業ノ勃興トニ依リ逐年躍進的發展ヲ遂ケツツアリ且ツ徳山港カ開港閉鎖ノ要アルニ鑑ミ本港ヲ開港ニ指定シ前記ノ情勢ニ順應スルコト緊要ナリト認メ其ノ港界ヲ本按ノ如ク決定セントス

右ニ依ル港域水面積ハ大約二一、七九五、八〇〇平方米（約六、五九三、〇〇〇坪）ナリ

外務省

18.1

G-0038



一開港港則中改正ノ件
右來ル三十日(水曜日)午前十時會議被相關候間御出席相成慶議長
ノ命ニ依リ此段及通知候也

昭和十三年三月二十六日

樞密院書記官

外務省

13.1

一開港港則中改正ノ件 参照添附
一右一件審査報告
右及配付候也

昭和十三年三月二十六日

樞密院書記官

外務省

13.1

G-0038

案

南庄及南嶺ニ南ノリ

明治三十二年勅令第三百四十二號中左ノ通改正ス

第一條中山口縣ノ項港名ノ欄「徳山」ヲ「宇部」ニ改メ愛媛縣ノ項ノ
次ニ左ノ一項ヲ加フ

高
知
高
知

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

G-0038

勅令第百十六號（昭和十三年三月十日^五）

明治三十二年勅令第三百四十二號中左ノ通改正ス

第二條 前條ノ開港ハ二年間ノ輸出入貨物ノ價額五萬圓ニ達セザル場

合又ハ其ノ附近ノ地ニ新ニ開港ヲ設クル場合ニ於テ政府之ヲ存置ス

ルノ必要ナシト認ムルトキハ之ヲ閉鎖スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ大藏大臣ハ閉鎖ノ三月前其ノ時期ヲ公告スベシ

第三條 戰時又ハ事變ニ際シ政府必要アリト認ムルトキハ前條ノ規定

ニ拘ラズ第一條ノ開港ヲ閉鎖スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ大藏大臣ハ豫メ閉鎖ノ時期ヲ公告スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正四年勅令第三百四十二號ハ之ヲ廢止ス

G-0038

勅令第 號

開港港則中左ノ通改正ス

第一條中神戸ノ項ヲ左ノ如ク改ム

神戸ノ港界ハ蘆屋川口ヨリ南四十二度三十分西ニ引キタル一線

及妙法寺川口ヨリ南八十七度東ニ引キタル一線以內

同條中徳山ノ項ヲ削ル

同條中今治ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

高知ノ港界ハ龍頭崎燈臺ヨリ正東一海里ニ引キタル一線及該線

ノ東端ヨリ正北ニ引キタル一線以內

宇部ノ港界ハ宇部岬ヨリ南八十度西ニ引キタル一線及本山鼻ヨ

リ南七十度東ニ引キタル一線以內

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

G-0038

理由

神戸港ニ付テハ現港界内ニ於ケル錨地ノ實況ニ鑑ミ港域擴張ノ要アリ、
徳山港ニ付テハ開港ヲ閉鎖セララルコトトナリタルニ依リ之ヲ削除ス
ルノ要アリ、高知港及宇部港ニ付テハ新ニ開港ニ指定セララルコトト
ナリタルニ依リ孰レモ之ガ港界ヲ定ムルノ要アルニ因ル

G-0038

〔参照〕

開港港則

明治三十一年七月
勅令第一三九號

第一條 左ニ記載スル外國通商ノ許シタル諸港ノ疆界ハ左ノ如ク之
ヲ定ム

横濱ノ港界ハ十二天鼻ヨリ北四十六度東五海星ニ引キタル一線
及該線ノ北東端ヨリ正北ニ引キタル一線以內

神戸ノ港界ハ新在家ノ東角ヨリ南十五度西ニ引キタル一線ト和

國岬ヨリ北八十四度三十分東ニ引キタル一線トノ三線ヲ

疆界トナシタル一線以內

神戸ノ港界ハ蘆屋川口ヨリ南四十二度三十分西ニ引キタル一線

及妙法寺川口ヨリ南八十七度東ニ引キタル一線以內

(中略)

徳山ノ港界ハ仙島ノ洲鼻ト蛇島ノ北東端トノ連綿線ヲ兩岸ニ延
長シタル一線以內

今治ノ港界ハ蒼社川口ノ東岸ヨリ正北ニ引キタル一線ト大濱

臺ヨリ南六十度東ニ引キタル一線トノ二線ヲ疆界トナシタル一

線以內

高知ノ港界ハ龍頭埼燈臺ヨリ正東一海里ニ引キタル一線及該線

ノ東端ヨリ正北ニ引キタル一線以內

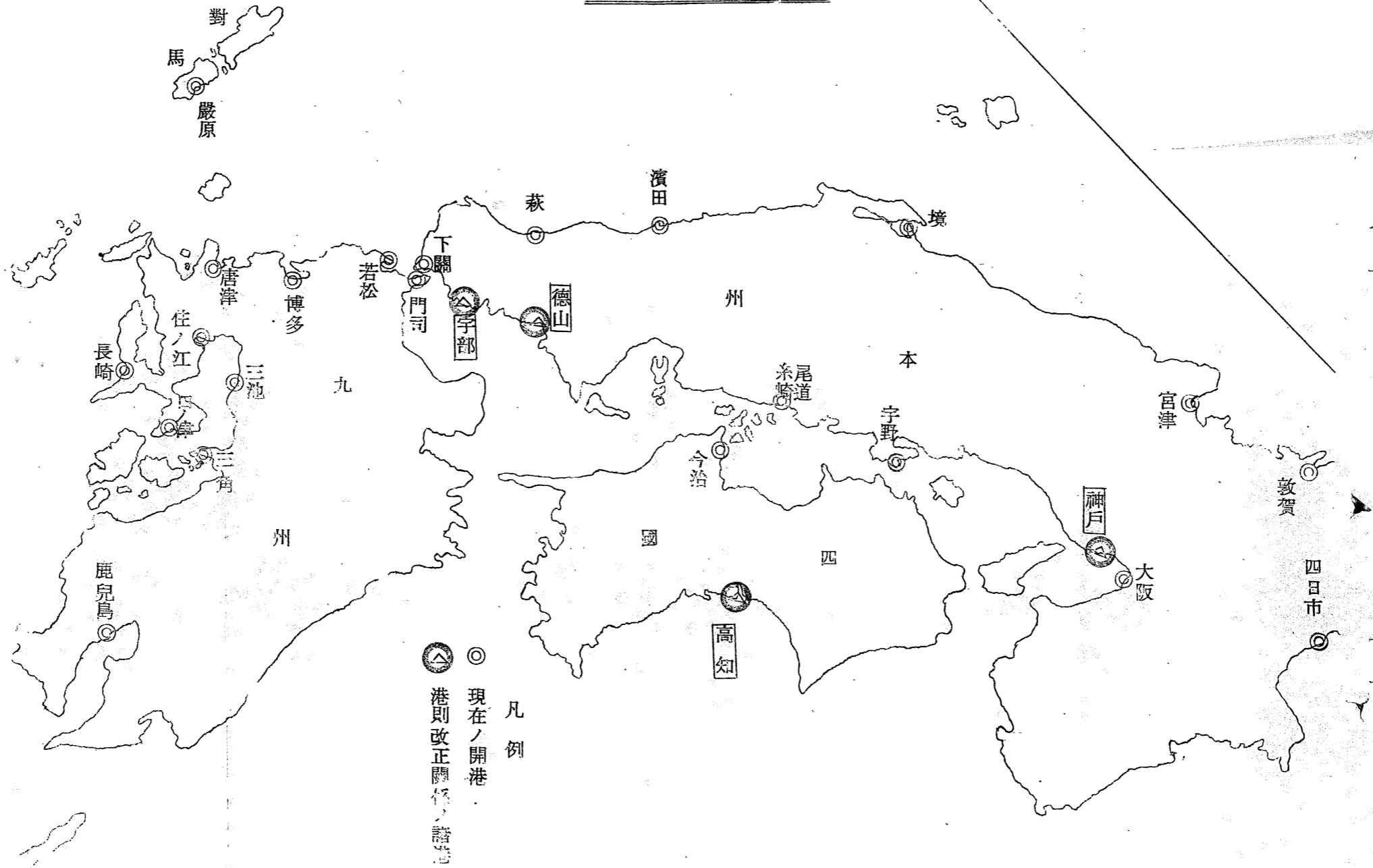
宇部ノ港界ハ宇部岬ヨリ南八十度西ニ引キタル一線及本山鼻ヨ

リ南七十度東ニ引キタル一線以內

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

開港在所圖



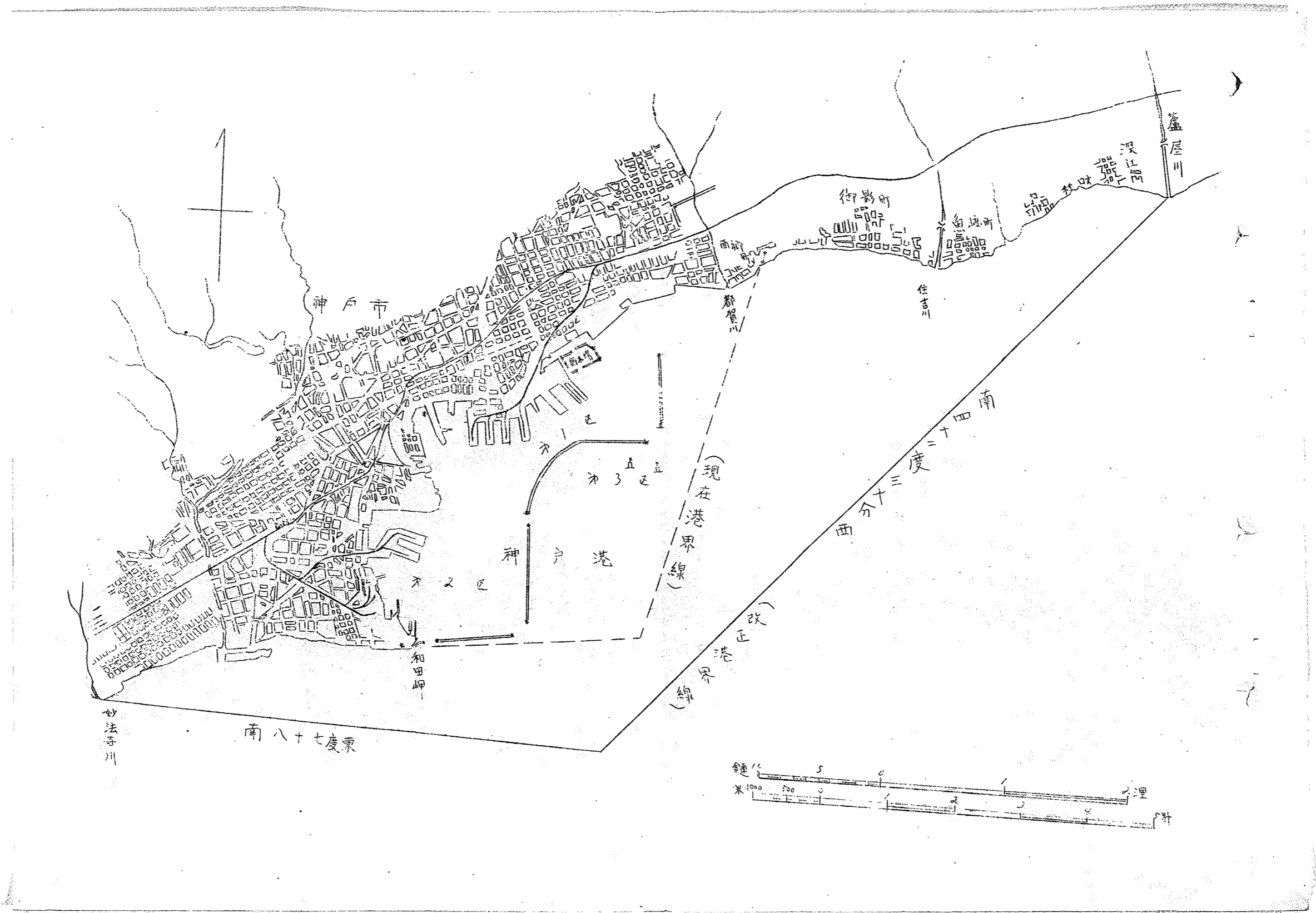
G-0038



神 戸 港

神戸港ハ大正十三年勅令第四七號ヲ以テ其ノ港域ヲ現在ノ如ク擴張セラレタルモノナル處爾來本港ノ港勢ハ駸々トシテ發展ノ一路ヲ辿リ入港船舶ノ隻數ニ於テ總噸數ニ於テ右ノ改正當時ニ比シ約五割ノ増加ヲ見ル現況ニシテ港域ノ狹隘、錨地ノ不足ヲ感ズルコト痛切ナルモノアリ此際本港ノ港域ヲ擴張スルコト緊要ナリト認メ其ノ港界ヲ本接ノ如ク決定セントス

右ニ依ル港域水面積ハ大約四七、七二六、〇〇〇平方米（約一四、四三七、〇〇〇坪）ナリ



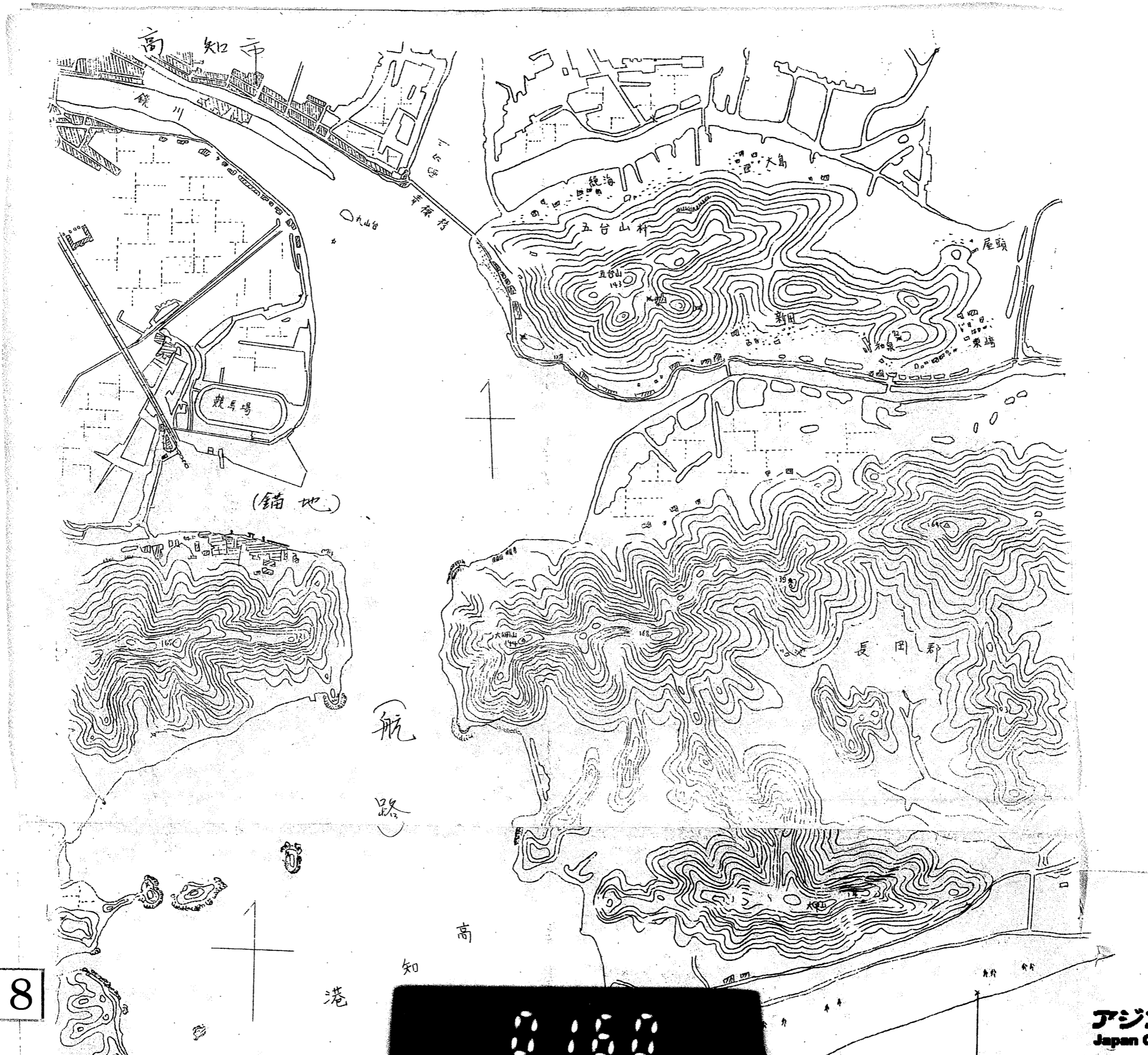
G-0038

高知港

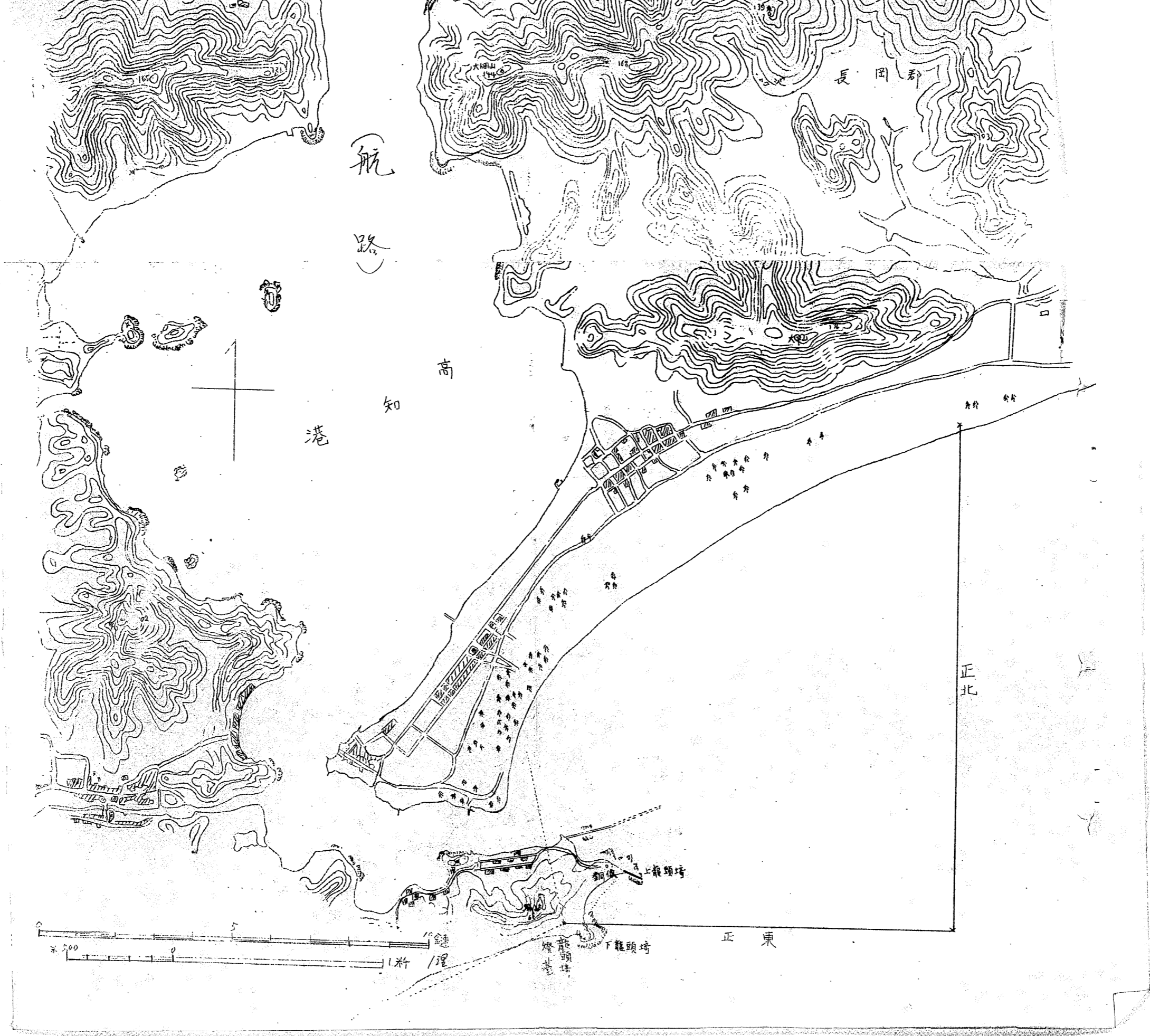
高知港ハ四國南岸ニ於ケル第二種重要港灣トシテ其ノ港灣施設ハ着々整備ノ途ニ在リ其ノ港勢ハ高知市ノ海門トシテ殆ド高知縣一圓ニ及ブ後方地域ヲ有シ更ニ四國循環鐵道開通ノ曉ニハ徳島、香川、愛媛各縣ノ一部ヲ抱擁スルニ至ルベシ而シテ現在四國ニ於ケル開港ハ北岸ニ於テ今治港一港ノミヲ存スル情況ナルニ鑑ミ本港ヲ開港ニ指定シ四國南岸ニ於ケル産業ノ發展ニ資スルコト緊要ナリト認メ其ノ港界ヲ本按ノ如ク決定セントス

右ニ依ル港域水面積ハ大約九、六一一、七〇〇平方米（約二、九〇七、五〇〇坪）ナリ

G-0038



G-0038



G-0038

高知港ニ於ケル出入船舶及輸出入貨物等調

(一) 船舶出入状況

年次	外國貿易船入港				其ノ他			
	内別	外別	内別	外別	内別	外別	内別	外別
昭和九年	四	一〇九	三	二五六	九	二五六	一	一
同十年	三	九五四	二	一七五〇	三	二一〇四	一	一
同十一年	六	八三五	一	一九五二	八	二七八七	一	二
同十二年	三	一三四	一	一三四	三	一三四	一	一
計	一〇	二〇二	七	六〇七	一三	一七〇一	三	三

(二) 輸出貨物調

年次	品名		数量	價額	主ナル仕向國名
	内別	外別			
昭和九年	セメント	材	六一〇〇	八、一五〇	關東州
昭和十年	セメント	材	一、五一九	四六〇〇〇	關東州
昭和十一年	計		五、一六九	一〇、一〇〇	同
昭和十二年	木	材	一、八五〇	五六〇〇〇	關東州
	セメント	材	五七〇〇	八五五〇〇	同
	竹	材	一、七〇〇	一七〇〇〇	同
	雜貨		八五〇	三八〇〇〇	同
	木炭		二、一〇〇	三五〇〇〇	同
計		一〇、三〇〇	二〇、〇〇〇	關東州	

G-0038

計	雜貨	竹材
三、四九九	七八六	一〇〇
一一六七六〇	三五三七〇	一、〇〇〇
	同	同

(備考) 本調ニハ不開港出入特許ヲ得テ入港セル船舶カ本港ニテ積取リタル輸出貨物ノミヲ計上セリ

(三) 輸入貨物調

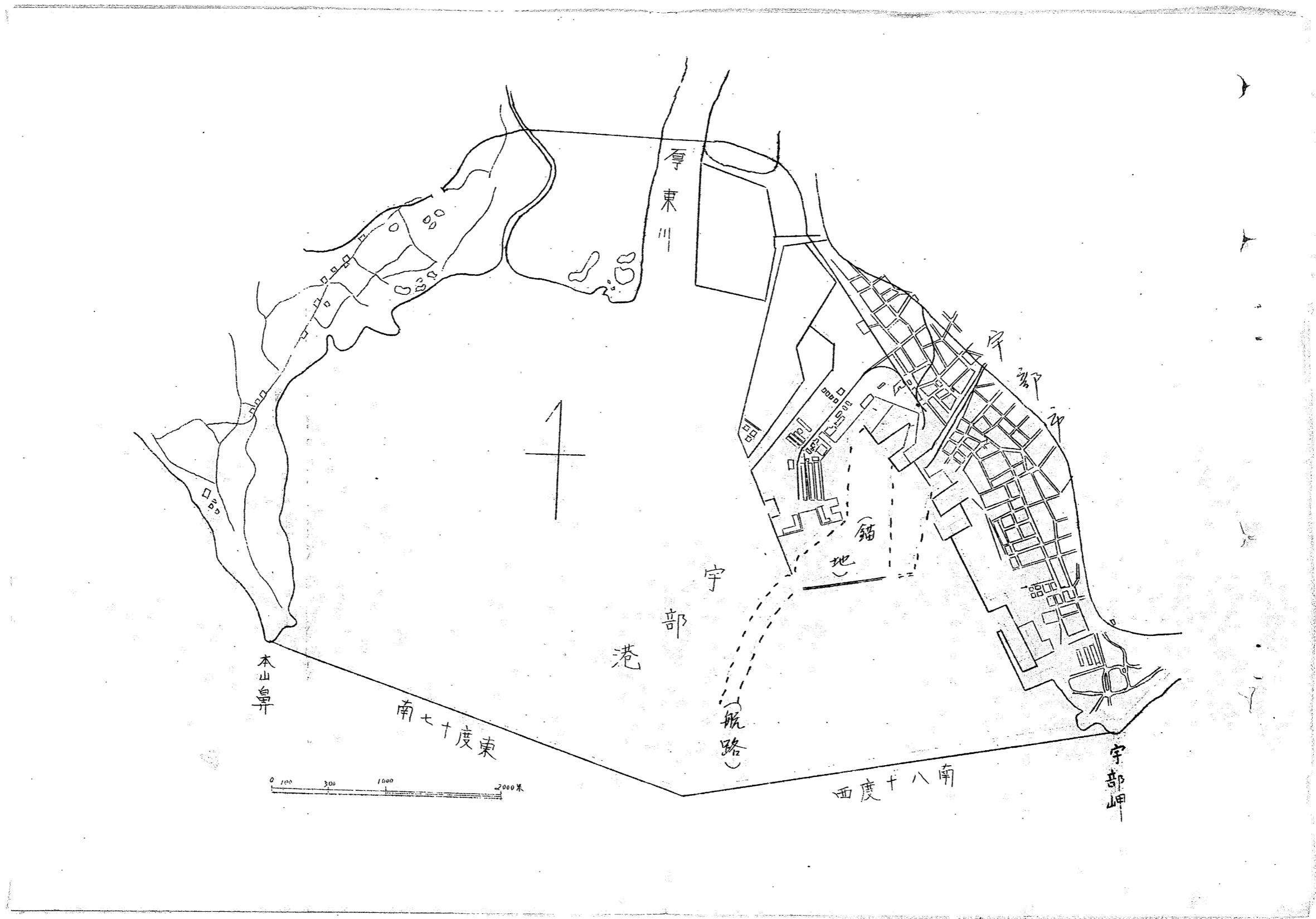
年次	品名	數量	價額	主ナル仕出國名
昭和九年	石炭	一、四六五六噸	一七六〇〇〇圓	關東州
昭和十年	石炭	二、二八〇	二、三〇〇〇	同
昭和十一年	石炭	三、四五三	四〇、〇〇〇	同
昭和十二年				

(備考) 本調ニハ不開港出入特許ヲ得テ入港セル船舶カ本港ニテ陸揚シタル輸入貨物ノミヲ計上セリ

G-0038

宇部港

宇部港ハ山口縣南岸ニ位スル第二種重要港灣トシテ其ノ港灣施設ハ着々整備ノ途ニ在リ其ノ港勢ハ本港附近ニ於ケル豊富ナル石炭ノ産出ト之ニ伴フ各種工業ノ勃興トニ依リ逐年躍進的發展ヲ遂ゲツツアリ且ツ徳山港ガ開港閉鎖ノ要アルニ鑑ミ本港ヲ開港ニ指定シ前記ノ情勢ニ順應スルコト緊要ナリト認メ其ノ港界ヲ本按ノ如ク決定セントス
右ニ依ル港域水面積ハ大約二一、七九五、八〇〇平方米（約六、五九三、〇〇〇坪）ナリ



G-0038



(三) 輸入貨物調

年次	品名	數量	價額	主ナル仕出國名
昭和十二年	塩	二五八七一	三三四三七〇	關東州
昭和十一年	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
昭和十年	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ

(備考) 本調ニハ不開港出入特許ヲ得テ入港セル船舶カ本港ニテ陸揚シタル輸入貨物ノミヲ計上セリ

G-0038

開港及別中改正ノ件

(一三三三一)

長崎
兵庫

星叢ニ有四百附船航第一四九号開港及別改正ニ關スル件「速
 信」ニ於テハ(一)高知港、宇都港、開港(二)神戸及伏
 木港、港城ノ拡張(三)門司及下關兩港ノ併合ノ三件ヲ
 包含シテ之ニ於テハ他者多ク申出ニ依
 リ三月十四日送付紙、開議稟請四紙文書ニハ(一)伏
 木港ノ拡張(二)門司及下關兩港ノ併合ノ二件ハ取止ムルニ
 決シ、(三)向津上改稱ノ件及徳山港(三月十四日附船令第一三三

外務省

号ノ以テ全港ヲ要港トシ、(四)開頓ノ二件ヲ追加セリ以テ
 従テ三月三日開港セリ之ニ拡張ノ件及開頓ノ二件ニ其後
 審議セリ改定ヲ見ルニ據リ

外務省

G-0038

分類 G 1.2.0. 4-1

●通信省令第五十號
 開港港則施行規則中左ノ通改正ス
 昭和十三年六月二十一日
 逓信大臣 永井柳太郎

別表第二號表(香港航路表)神戸港航路ノ區域ノ欄中第四航路ヲ左ノ如ク改ム

第四航路 國産波止場及花隈町ニ建設シタル頭部三角形ノ白色立標ニ基テ見通シタル線ノ西側六十米及東側五十米ノ幅ニシテ 第二乃至第五航路ノ會合點ニ至ル迄ノ水域但シ 第四航路西側線ハ第二航路西側線ノ延長線トノ會合點ヨリ同延長線ニ沿ヒ 第五航路ニ至ルモノトス

附 則
 本令ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

新聞 昭和十三年六月二十一日

手記

G-0038



分類 G 1.2.0.4-1

ファイル第 號

回 議 文 書

主 管

通 商 局 長

却返ニ 上ノ濟埋處ハ書本

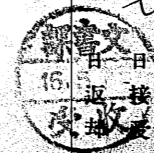
第 昭 和 十 七 年 五 月 五 日 附
件 名

通商局 第二課長

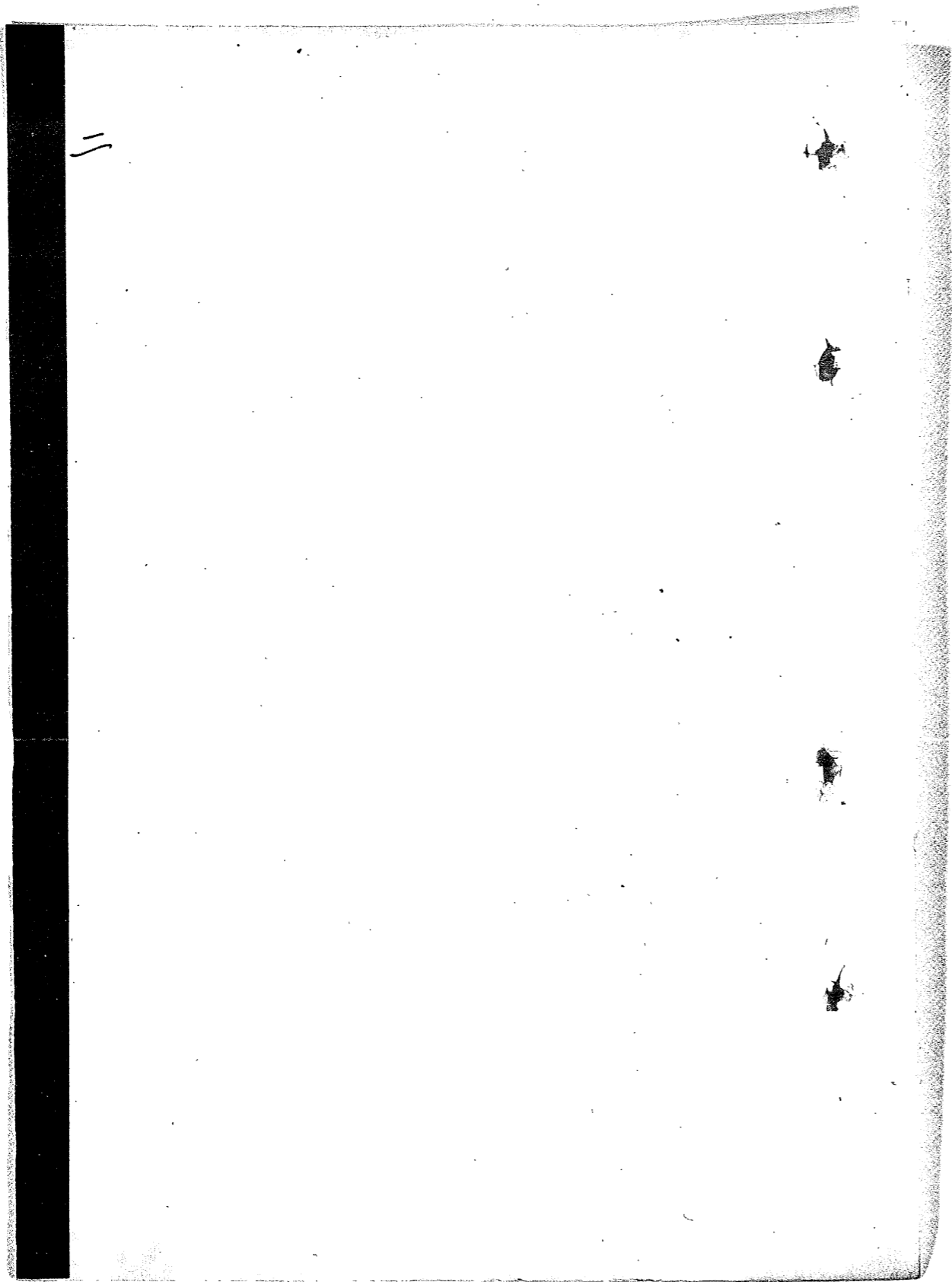
閣下 閣下 閣下 閣下

原 信 留 留
外 務 省 へ

昭 和 十 七 年 五 月 七 日



G-0038



G-0038

